

派遣所属先 岩手県宮古土木センター
氏名 石渡 保（いしわたり たもつ）
派遣期間 平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 10 月 31 日）
氏名 富田 典行（とみた のりゆき）
派遣期間 平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

派遣先の岩手県宮古土木センターでは、道路や河川の管理、防潮堤などの整備を行っています。

私たちは用地第 2 チームに所属し、主に道路と漁港関係の用地取得を行っています。

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災では、震災で発生した津波により住宅や商店だけでなく多くの道路や漁港が破壊されたほか、ガレキにより海岸沿いの集落を結んでいる道路が使用不可能となり、救命活動に支障が生じたり集落が長期にわたって孤立するなどの被害をこうむりました。

このため、再び津波が発生しても交通の分断が発生しないよう高台部に新たな道路を作り、復興に欠かせない漁港の整備を進めています。

三陸地域、現在の青森県から岩手県を通過して宮城県の海岸線を通る国道 45 号も同様の被害を受け、現在、自動車専用道路の整備を急ピッチで進められています。

また、内陸部から沿岸部へのアクセス道路の整備も急務であるため、同様の「盛岡宮古横断道路」も平成 32 年度供用に向けて整備が進められています。

私たちが勤務している宮古土木センターにおいても所長以下全職員が一丸となって震災から 5 年が経過し、早く復興を成し遂げたいという強い意志と迅速な行動力で鋭意用地取得と工事を進めています。



震災遺構の田老観光ホテル

重茂半島線の道路整備状況

着実に復興に向け事業を進めていたところ、平成 28 年 8 月 30 日に岩手県を襲った台風 10 号が観測史上初めてとなる記録的な豪雨となり、河川の氾濫による道路陥没や土砂崩落による交通の遮断が生じ、一時は盛岡に通じる唯一の国道 106 号が寸断されましたが、一週間ほどで復旧工事が完了し、宮古から盛岡まで通行できるようにな

りました。(宮古盛岡間は距離にして約 90 キロで通常は 2 時間程かかります)

5 年前の大震災で被災し台風で自宅が被害を受けてふたたび仮設住宅での仮住まいになった市民もいらっしゃいます。



台風 10 号による被害箇所

台風 10 号による被害箇所

しかし、10 月には第 71 回国民体育大会「希望郷いわて国体」と第 16 回全国障害者スポーツ大会「希望郷いわて大会」が開催され、県民のみなさんに勇気と元気を与えることができたのではないのでしょうか



レスリング会場の宮古市民体育館

宮古市民の方々は、みなさん優しい方で、被災されたこともあり早期の復興事業の完成を願っていることから、用地取得のお願いにも皆さんとても協力的です。

宮古市は古くから漁港として栄えた港で、水産業が盛んで、カキ、うに、アワビ、サケ、サンマ、昆布、ワカメなどの魚介類が豊富で、四季ごとにいろとりどりの海産物が店頭には並べられとても新鮮でおいしいです。

三陸地方はリアス式海岸でとても景色が素晴らしいところです。そして魚介類も新鮮でおいしいものがたくさんあります。

機会がありましたら岩手県の三陸地域にお越しいただき、復興の様子をご覧くださいたくことを願っています。